

# 風の芸術展

## 芸術文化の発信地～枕崎

昭和63年(1988年)文化資料センター南浜館の開館にともない、平成元年(1989年)に枕崎市制施行40周年を記念して、現代美術の全国コンクール「風の芸術展」を開催。從来の枠にとらわれない自由で創造豊かな作品を「平面」「立体」の分野で、国内・国外を問わず募集することで、優れた作品の発表と鑑賞の場を提供して、芸術文化の向上と、地域の発展を目的としています。

## これまでの「風の芸術展」

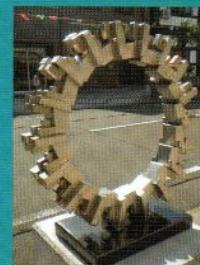
平成元年に第1回展を開催以降、ビエンナーレ(隔年)形式で第6回展(平成11年)まで開催し、平成14年度の第7回展からは、トリエンナーレ(3年に1回)形式となりました。作品は国内はもとより、国外からも応募があり、800点前後の作品が寄せられています。平成22年度に開催された第9回展までに延べ 3,567 人から 5,607 点の作品が寄せられ、国外ではブラジル、アメリカ、ベルギーなど9ヶ国からの出品がありました。作品のレベルは、国内コンクール屈指のものとして高く評価されています。

## アートを通したまちづくり～「青空美術館」

枕崎市では、「風の芸術展」の立体作品を街中に設置し、芸術文化の風薫る魅力的なまちを創造しながら、まちそのものを「青空美術館」として、來訪者や市民の憩いの空間として捉えています。



③「時間旅行者のために  
No.0218」  
原 透(神奈川県)



⑦「Ring (カタゲルマ)」  
塙本洋守(佐賀県)



⑫「Metamorphosis (変容)  
-dimension (次元)について」  
山崎哲郎(東京都)



⑪「くくく」  
宮薗広幸(鹿児島県)



⑥「遠くへ」  
野崎 寿(徳島県)  
第9回「風の芸術展」協賛賞



②「環」  
松本憲宜(東京都)



①「海風(ウミカゼ)」  
竹鶴壽男(神奈川県)



⑤「断崖」  
福元修一(鹿児島県)



⑧「鳥」  
八田 隆(鹿児島県)



⑨「Space II」  
平田隆宏(愛知県)

